

代謝分野アッセイキット 特別価格キャンペーン

最大30%OFF

キャンペーン概要

期 間 2026/ 9 / 30（水）受注分まで

概 要 希望納入価格の最大**30%OFF**でご提供

- 対 象 製 品
- P.1 **ラボアッセイ™ シリーズ**
グルコース/コレステロール/トリグリセライド/ALT/ASTなど
 - P.4 **糖代謝 ELISAキット**
インスリン/グルカゴン/GLP-1
 - P.6 **脂質代謝 ELISAキット**
脂質輸送マーカー Apo B-48
 - P.6 **肝・腎機能 ELISAキット**
アルブミン
 - P.7 **線維化 ELISAキット**
線維化マーカー候補 CTGF

カタログ情報

代謝研究の最新知見、主要なバイオマーカーとその測定意義を掲載！



代謝研究試薬カタログ

当社では代謝研究に関連する試薬（アッセイキット、抗体ほか）や生体試料サービスをまとめたカタログを発行しております。これから代謝研究を始める方や代謝について勉強したい方向けに学術コンテンツも充実させております。



ダウンロードページ

ラボアッセイ™ シリーズ（生化学アッセイキット）

ラボアッセイ™ シリーズはヒト、マウス、ラットなどを対象とした生化学アッセイキットです。マイクロウェルプレートを用いて測定するため、必要となる検体が少量ですみ、簡便に多検体を測定することができます。【注意】ラボアッセイ™ シリーズは研究用試薬です。診断に使用することはできません。

カテゴリ	コードNo.	品名	容量	希望納入価格（円）	キャンペーン価格（円）
糖代謝	291-94001	ラボアッセイ™ グルコース	500回用	27,000	18,900
脂質代謝	293-93601	ラボアッセイ™ コレステロール	500回用	22,500	15,800
	299-96501	ラボアッセイ™ HDL-コレステロール	100回用	30,000	21,000
	291-96701	ラボアッセイ™ LDL-コレステロール	100回用	30,000	21,000
	297-98501	ラボアッセイ™ 遊離コレステロール	350回用	49,000	34,300
	291-94501	ラボアッセイ™ トリグリセライド	350回用	27,000	18,900
	295-94401	ラボアッセイ™ リン脂質	500回用	33,000	23,100
	299-94301	ラボアッセイ™ NEFA (FFA)	500回用	49,000	34,300
肝機能	297-94601	ラボアッセイ™ アンモニア	700回用	33,000	23,100
	297-93501	ラボアッセイ™ ALP	500回用	26,000	18,200
	293-97501	ラボアッセイ™ ALT (GPT)	100回用	49,000	34,300
	299-97601	ラボアッセイ™ AST (GOT)	100回用	49,000	34,300
腎機能	295-98801	ラボアッセイ™ 総タンパク質	250回用	37,000	25,900
	291-98901	ラボアッセイ™ アルブミン	250回用	47,000	32,900
	291-93901	ラボアッセイ™ クレアチニン	500回用	33,000	23,100

糖代謝

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ グルコース

血液中のグルコース量を測定することで、生体内のエネルギー代謝や血糖の恒常性を理解することができます。グルコース測定法のうち、ムタロターゼとグルコースオキシダーゼを組み合わせた「ムタロターゼ・GOD法」は、比色法で測定できる、測定時間が短い、微量のD-グルコースも測定できるという特長があります。ラボアッセイ™ グルコースはムタロターゼ・GOD法を用いて、検体中のグルコースを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿 イヌ 血清/血漿 ネコ 血清/血漿
検量線範囲	50-500 mg/dL
検体量	2 μ L
測定時間	約10分
測定波長	505 nm (副波長 600 nm)

脂質代謝

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ コレステロール（総コレステロール）

コレステロールを測定することで、肝臓におけるコレステロールの合成、脂質の代謝、栄養状態などに異常がないかを調べることができます。また動脈硬化の危険を予測する際にもコレステロールは有用な指標です。ラボアッセイ™ コレステロールはコレステロールオキシダーゼ・DAOS法を用いて、検体中の総コレステロールを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿 イヌ 血清/血漿 ネコ 血清/血漿 培地 (D-MEM)※
検量線範囲	50-592.2 mg/dL
検体量	2 μ L
測定時間	約10分
測定波長	600 nm (副波長: 700 nm)

※ 培地に標準品を添加した検体で検証しています。測定可否は培地や細胞種、培養条件などによって異なります。

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ HDL-コレステロール

リポタンパク質であるHDLは組織や末梢細胞、血液中の余分なコレステロールを肝臓に運ぶことで、血液中のコレステロールの増加を防ぎます。HDL-コレステロール濃度の低下は冠動脈疾患(CHD)、高脂血症、喫煙、肥満、糖尿病、肝疾患などで見られます。ラボアッセイ™ HDL-コレステロールは血液中のHDL-コレステロールを測定するキットです。遠心分離によるリポタンパク質の分画は不要です。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿
検量線範囲	6.25-200 mg/dL
検体量	5 μ L
測定時間	約20分
測定波長	600 nm (副波長: 700 nm)

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ LDL-コレステロール

リポタンパク質であるLDLは肝臓で作られたコレステロールを全身へ運搬します。LDL-コレステロールが血中に多く存在すると血管壁に沈着、蓄積し、動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させます。ラボアッセイ™ LDL-コレステロールは血液中のLDL-コレステロールを測定するキットです。遠心分離によるリポタンパク質の分画は不要です。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿
検量線範囲	9.38-300 mg/dL
検体量	5 μ L
測定時間	約20分
測定波長	600 nm (副波長 700 nm)

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ 遊離コレステロール

2026年3月発売

遊離コレステロールとは脂肪酸と結合していない形態のコレステロールで、細胞膜の柔軟性維持や信号伝達、ホルモン合成に不可欠な役割を担っています。正常な細胞機能には遊離コレステロールの適切なバランスが重要とされ、異常は様々な疾患の指標となります。コレステロールエステル比の低下は急性・慢性肝炎、肝硬変症、ネフローゼ症候群、慢性炎症性疾患などと関連しています。

ラボアッセイ™ 遊離コレステロールは検体中の遊離コレステロールを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) マウス 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) ラット 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) イヌ 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) ネコ 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) 培地 (D-MEM、RPMI)※
検量線範囲	10-233 mg/dL
検体量	10 μ L
測定時間	約20分
測定波長	600 nm

※ 培地に標準品を添加した検体で検証しています。測定可否は培地や細胞種、培養条件などによって異なります。

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ トリグリセライド

トリグリセライド(中性脂肪)は、エネルギー源として肝臓や脂肪組織に蓄積されます。高脂血症は、コレステロールやトリグリセライドなどの血清中の脂質が増加した状態であり、増加した脂質成分で分類されています。高脂血症は虚血性心疾患や脳血管疾患の危険因子の一つであることが知られています。

ラボアッセイ™ トリグリセライドはGPO・DAOS法を用いて、検体中のトリグリセライドを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿 イヌ 血清/血漿 ネコ 血清/血漿
検量線範囲	100-888 mg/dL
検体量	2 μ L
測定時間	約10分
測定波長	600 nm (副波長 700 nm)

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ リン脂質

りん脂質は、リポタンパク質の構成要素として血液中における脂質の安定化やコレステロールエステルの合成など脂質代謝に重要な役割を果たしています。

ラボアッセイ™ リン脂質は、トリンダー試薬を利用した酵素比色法(コリンオキシダーゼ・DAOS法)を採用したりん脂質測定キットです。ホスホリパーゼDを用いているため、内因性のトリグリセライドや遊離グリセリン、無機りんの影響を受けません。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿 イヌ 血清/血漿 ネコ 血清/血漿 培地 (D-MEM)※
検量線範囲	75.0-596.1 mg/dL
検体量	2 μ L
測定時間	約10分
測定波長	600 nm (副波長 700 nm)

※ 培地に標準品を添加した検体で検証しています。測定可否は培地や細胞種、培養条件などによって異なります。

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ NEFA (FFA)

遊離脂肪酸(NEFA/FFA)は、脂肪酸のうち、体内でエネルギー源として利用される遊離状態(グリセリンとエステル結合していない)のものを指します。血清中の遊離脂肪酸は、総脂肪酸の4-5%を占めており、末梢組織の重要なエネルギー源になっています。

ラボアッセイ™ NEFA (FFA)はACS・ACOD法を用いて、検体中の遊離脂肪酸を測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿 イヌ 血清/血漿 ネコ 血清/血漿 培地 (D-MEM)※
検量線範囲	0.4-1.97 mEq/L ※オレイン酸 1 mEq=1 mmol
検体量	4 μ L
測定時間	約20分
測定波長	550 nm

※ 培地に標準品を添加した検体で検証しています。測定可否は培地や細胞種、培養条件などによって異なります。

肝機能

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ アンモニア

アンモニアは肝臓のオルニチン回路で尿素に変換され、腎臓を経て尿中に排出されます。血液中のアンモニアを測定することで肝臓の機能を調べる事が可能です。特に重症の肝疾患において血中アンモニアは高値を示します。

ラボアッセイ™ アンモニアは、藤井・奥田法変法を用いて、検体中のアンモニアを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 全血 マウス 全血 ラット 全血 イヌ 血清/血漿 ネコ 血清/血漿 細胞培養上清※
検量線範囲	100-400 μ g/dL
検体量	70 μ L
測定時間	約70分
測定波長	630 nm

※ 測定可否は培地や細胞種、培養条件などによって異なります。

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ ALP

アルカリフォスファターゼ(ALP)はアルカリ条件下でりん酸モノエステル結合を加水分解する酵素です。生化学検査における血液中のALPは主に肝・胆道疾患の指標とされています。

ラボアッセイ™ ALPは

-ニトロフェニルりん酸基質法を用いて、検体中のアルカリフォスファターゼを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清 マウス 血清 ラット 血清 イヌ 血清 ネコ 血清 培地 (D-MEM)*
検量線範囲	0.0625-0.5 mmol/L ※p - ニトロフェノール
検体量	20 μ L
測定時間	約20分
測定波長	405 nm

※ 培地に標準品を添加した検体で検証しています。測定可否は培地や細胞種、培養条件などによって異なります。

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ ALT (GPT)

アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT/GPT) は肝臓組織で多く存在していることやラットおよびヒトでは肝臓以外の組織では発現レベルが低いことから、肝機能障害の主要マーカーとして利用されてきました。

ラボアッセイ™ ALT (GPT) は、検体中のALTを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿 イヌ 血清/血漿 ネコ 血清/血漿
検量線範囲	0-405 U/L
検体量	7 μ L
測定時間	約40分
測定波長	340 nm (副波長 405 nm)

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ AST (GOT)

アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST/GOT) は肝臓や心筋、骨格筋などに多く存在しており、細胞膜透過性の変化や細胞死などで血液中に逸脱することから、肝障害をはじめとする臓器障害のマーカーとして利用されています。

ラボアッセイ™ AST (GOT)は、検体中のASTを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿 イヌ 血清/血漿 ネコ 血清/血漿
検量線範囲	0-405 U/L
検体量	7 μ L
測定時間	約40分
測定波長	340 nm (副波長 405 nm)

腎機能

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ 総タンパク質

血液中の総タンパク質は主にアルブミンとグロブリンから構成され、生体の浸透圧調整や物質の運搬に関係します。総タンパク質の異常値は、肝疾患や腎疾患、慢性炎症の病態を示す指標として利用されます。アルブミン濃度の測定値と組み合わせることで、アルブミン・グロブリン比(A/G 比)を算出可能です。

ラボアッセイ™ 総タンパク質は検体中(主に血液中)の総タンパク質を測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) マウス 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) ラット 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) イヌ 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) ネコ 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) 培地 (D-MEM, RPMI)*
検量線範囲	1.0-11.9 g/dL
検体量	5 μ L
測定時間	約30分
測定波長	540 nm

※ 培地に標準品を添加した検体で検証しています。測定可否は培地や細胞種、培養条件などによって異なります。

2026年3月発売

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ アルブミン

アルブミンは主に肝臓で合成される血漿タンパク質であり、肝疾患や肝機能障害の診断・管理において血清や血漿中のアルブミン濃度測定が重要な指標となります。また、尿中へのタンパク質漏出を特徴とする腎疾患では、血液中の総タンパク質およびアルブミン濃度が低下し、低アルブミン血症が引き起こされることが知られています。

ラボアッセイ™ アルブミンはプロモクレゾールグリーン法(BCG法)を用いて、検体中(主に血液中)のアルブミンを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) マウス 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) ラット 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) イヌ 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) ネコ 血清/血漿 (EDTA、ヘパリン) 培地 (D-MEM, RPMI)*
検量線範囲	0.625-7.5 g/dL
検体量	2 μ L
測定時間	約20分
測定波長	630 nm

※ 培地に標準品を添加した検体で検証しています。測定可否は培地や細胞種、培養条件などによって異なります。

2026年3月発売

製品情報はこちら



ラボアッセイ™ クレアチニン

クレアチニンとは、クレアチンが脱水・環化した代謝産物で、非タンパク質性窒素化合物の一種です。産生されたクレアチニンは腎臓を経て尿中に排出されます。腎臓の機能が低下すると血液中のクレアチニン量が上昇します。

ラボアッセイ™ クレアチニンはJaffé反応を用いて、検体中のクレアチニンを測定するキットです。

測定対象検体	ヒト 血清/血漿 マウス 血清/血漿 ラット 血清/血漿 イヌ 血清/血漿 ネコ 血清/血漿
検量線範囲	2.5-10 mg/dL
検体量	50 μ L
測定時間	約40分
測定波長	520 nm

インスリン ELISAキット

インスリンは膵臓のランゲルハンス島（膵島）のβ細胞から分泌されるホルモンです。肝臓、筋肉、脂肪組織が主要な標的組織であり、血糖値が上昇すると、インスリンが分泌されて血糖値を下げる作用を示します。糖尿病は主にインスリンの分泌が低下する、あるいはインスリンがうまく作用しないことによって引き起こされます。また、近年では糖尿病がアルツハイマー病などの神経疾患と関連していることも報告されています。当社ではインスリン ELISAキットを幅広くラインアップしております。動物種だけでなく、検体中のインスリン濃度や特異性、使いやすさなどから適切なキットを選択することができます。

■ 製品ラインアップ

動物種		ヒト	マウス						ラット		
タイプ		発光	発光	標準	Ready to Use	高濃度 (ワイドレンジ)	高感度	高特異性	発光	標準	高感度 *対象外
コードNo.		290-89201	296-89301	292-89401	298-89501	290-89701	296-89801	292-89901	296-89301	299-94801	293-90301
測定範囲	pg/mL										
	100,000					●					
	50,000					●					
	20,000	●	●			●			●		
	12,000	●	●		●	●			●		
	10,000	●	●	●	●	●			●	●	
	5,000	●	●	●	●	●		●	●	●	
	2,500	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	500	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	156	●	●	●	●		●	●	●	●	●
	100	●	●		●		●	●	●		●
	78	●	●				●	●	●		●
	39	●	●				●		●		●
	30										
特長		ワイドレンジで、再測定の手間を低減	ワイドレンジで、再測定の手間を低減	標準的な測定範囲	標準品、検出抗体、アビジン溶液が希釈済み	高濃度検体（組織抽出液や糖尿病モデル血液など）に対応	長時間の絶食など低濃度検体の測定に対応	プロインスリンとの交差性を抑え、インスリンを特異的に測定	ワイドレンジで、再測定の手間を低減	標準的な測定範囲	長時間の絶食など低濃度検体の測定に対応

■ キット選択のポイント

▼ 測定検体

検体	ポイント
血清/血漿	実験動物を絶食させる場合、血中インスリン濃度が低くなります。長期間絶食させる場合は、高感度タイプをご使用ください。絶食期間が短ければ、標準タイプやReady to Use タイプを推奨します。また糖尿病・肥満モデルマウスを使用する場合、高い血中インスリン濃度を示す可能性があります。絶食時間を考慮する必要がありますが、インスリン濃度が10 ng/mLを超える場合は、高濃度タイプを推奨します。
組織抽出物	高濃度タイプを推奨します。抽出溶媒によっては測定値に影響を及ぼす場合があるので、事前に希釈直線性を確認してください。
細胞培養上清	検体のインスリン濃度が高くなると予想されますので、高濃度タイプを推奨します。培地の添加剤を確認し、インスリンが添加されている場合はC-ペプチドの測定を推奨します。

▼ プロインスリンとの交差性

プロインスリンはゴルジ体から分泌顆粒に移行する過程でインスリンとC-ペプチドになりますが、分泌顆粒には分解されずに残ったプロインスリンも少量ながら存在し、顆粒の分泌によってインスリンとともに血中に放出されてしまいます。血中インスリンを免疫学的測定法で測定した場合、一般的にはプロインスリンも測定してしまうため、このインスリンはIRI (Immunoreactive Insulin) と呼び、インスリンとは区別します。プロインスリン/インスリン比によってランゲルハンス島 β細胞の機能障害を調べたい場合は、高特異性タイプのキットを推奨します。

コードNo.	品名	容量	希望納入価格 (円)	キャンペーン価格 (円)
290-89201	レビス™ ヒトインスリン ELISAキット (発光系)	96回用	75,000	63,800
296-89301	レビス™ マウス/ラットインスリン ELISAキット (発光系)	96回用	70,000	59,500
292-89401	レビス™ マウスインスリン ELISAキット	96回用	48,000	33,600
298-89501	レビス™ マウスインスリン ELISAキット (RTU)	96回用	57,000	39,900
290-89701	レビス™ マウスインスリン ELISAキット (ワイドレンジ)	96回用	64,000	54,400
296-89801	レビス™ マウスインスリン ELISAキット (高感度)	96回用	69,500	48,700
292-89901	レビス™ マウスインスリン ELISAキット (高特異性)	96回用	76,500	61,200
299-94801	レビス™ ラットインスリン ELISAキット	96回用	48,000	33,600

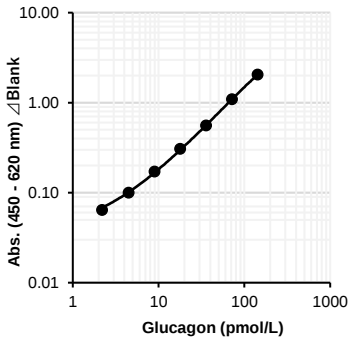
グルカゴン ELISAキットワコー(サンドイッチ法)

グルカゴンはインスリン拮抗ホルモンの中で最も重要で、血糖値を上げる作用があります。膵臓のランゲルハンス島(膵島)のα細胞から分泌され、主に肝細胞を標的とします。グルカゴンは、肝臓に存在するグルカゴン受容体(GCGR)に特異的に結合をすることで肝グリコーゲン分解を促進し、血糖値を上昇させます。さらにGCGRに加え、GLP-1R(グルカゴン様ペプチド-1受容体)、GIPR(グルコース依存性インスリン分泌刺激ポリペプチド受容体)は、エネルギー代謝調節において重要な役割を担い、代謝性疾患の治療標的とされています。これら受容体に作用する単一分子アゴニストは、例えばGLP-1受容体作動薬のようにすでに治療薬として開発されたものもあります。これら3つの受容体すべてに作用する三重作動薬の開発が進んでおり、高血糖と肥満の両方のリスクを低減できる可能性に注目が集まっています。グルカゴン ELISAキットワコー(サンドイッチ法)はグルカゴンのN末端認識モノクローナル抗体とC末端認識モノクローナル抗体を用いたELISAキットです。少量検体(10 μL)で高感度に測定が可能です。

■ キット性能

検量線範囲	2.2-143.6 pmol/L (7.8-500 pg/mL)
測定対象検体	ヒト 血清/血漿 (EDTA) マウス 血清/血漿 (EDTA) ラット 血清/血漿 (EDTA) 細胞培養液
必要検体量	10 μL
測定時間	約20時間
検出法	発色系 (主波長: 450 nm/副波長: 620 nm)

■ 検量線例

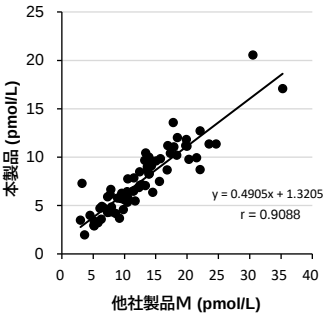


■ 他社製品との相関

本製品および他社製品を用いて、ヒト血清 (n=78) のグルカゴンの測定を行い、測定値の相関性を確認した。なお使用法は各キットのマニュアルに従った。

【結果】

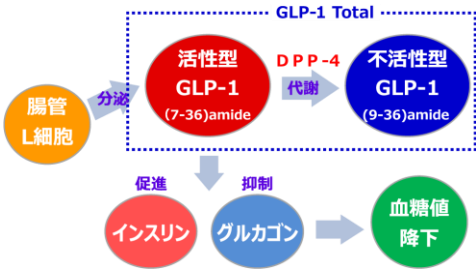
本製品と他社製品で取得した測定値には高い相関がみられた。



コードNo.	品名	容量	希望納入価格 (円)	キャンペーン価格 (円)
292-80001	グルカゴン ELISAキットワコー(サンドイッチ法)	96回用	106,000	74,200

GLP-1 ELISAキットワコー, 高感度品

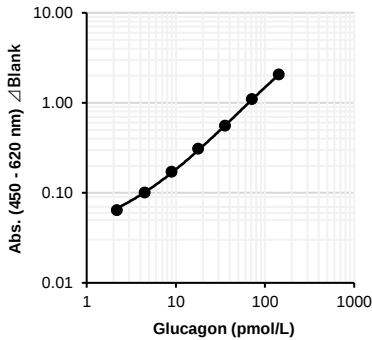
GLP-1は腸管L細胞から分泌される消化管ホルモンで、糖刺激によるインスリン分泌の増強やグルカゴン分泌抑制を介して血糖値降下作用を示します。新しい糖尿病治療薬としてGLP-1が2型糖尿病の治療に有用であるとの報告が出されています。GLP-1 ELISAキットワコーは、総GLP-1(活性型GLP-1+不活性型GLP-1)を測定するELISAキットです。



■ キット性能

測定対象	総GLP-1(活性型GLP-1+不活性型GLP-1)
検量線範囲	0.94-30 pM
測定対象検体	マウス 血漿 (EDTA) ラット 血漿 (EDTA)
必要検体量	10 μL
測定時間	約4時間
検出法	発色系 (主波長: 450 nm/副波長: 620 nm)

■ 検量線例



コードNo.	品名	容量	希望納入価格 (円)	キャンペーン価格 (円)
299-75501	GLP-1 ELISAキットワコー, 高感度品	96回用	98,000	68,600

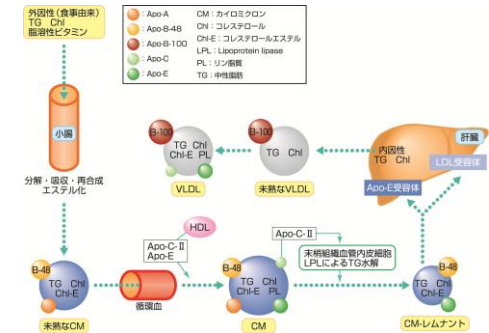
レビス™ ヒトアポ B-48 ELISAキット

Apolipoprotein B-48 (Apo B-48) は小腸由来のリポタンパク質カイロミクロン (CM) やカイロミクロンレムナントに存在する特異的な構造タンパク質です。CMは食物などに由来する外因性脂質を肝臓や末梢組織に輸送する役割を持つため、Apo B-48を測定することは摂食後の外因性脂質輸送の観察に最適なマーカーと考えられています。同一試料でLDL-コレステロール、HDL-コレステロールを測定することにより、内因性コレステロールの変化を解析できます¹⁾。さらに空腹時Apo B-48が食後高脂血症のマーカーとなり得ます²⁾。

レビス™ ヒトアポ B-48 ELISAキットは、ヒトの血清および血漿中に存在するApo B-48を測定するELISAキットです。Apo B-48に特異的な抗体を使用しており、Apo B-100との交差性は検出感度以下です。

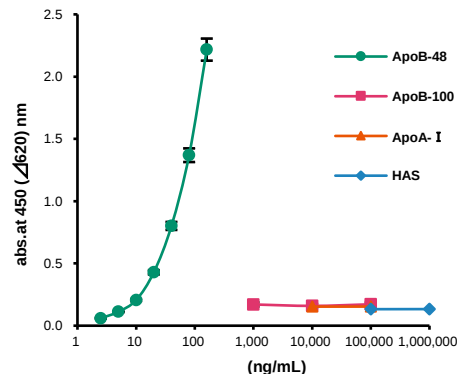
<参考文献>

- 1) Otokoza, S. et al.; *Metabolism*, 58(11), 1536(2009).
2) Reyes-Soffer, G. et al.; *Diabetes Care*, 36(2), 422(2013).



■ 類似タンパク質との交差性

本製品で各濃度の類似タンパク質を測定し、その交差性を確認した。



【結果】

Apo B-100、Apo A-I、HAS (ヒトアルブミン製剤) の測定値は、本製品の検量線範囲外であり、ほとんど交差しないことが確認できた。

■ キット性能

検量線範囲	2.5-160 ng/mL
測定対象検体	ヒト 血清/血漿 (くえん酸は使用不可)
必要検体量	50 μ L (100倍希釈)
測定時間	約2時間50分
検出法	発色系 (主波長: 450 nm/副波長: 620 nm)

コードNo.	品名	容量	希望納入価格 (円)	キャンペーン価格 (円)
298-88901	レビス™ ヒトアポ B-48 ELISAキット	96回用	98,000	68,600

レビス™ アルブミンELISAキット

アルブミンは細胞や体液中に含まれる水溶性のタンパク質です。血漿アルブミンは主に肝細胞で合成され、浸透圧維持に重要な役割を果たし、難水溶性の物質の運搬に寄与しています。血漿アルブミンの濃度は、肝硬変などでのアルブミンの生合成低下、栄養不良や熱性疾患での体タンパク質損耗に基づく血液中のアルブミンの消費、腎障害による尿への漏出等で低下します。一方、尿中アルブミンは、腎疾患に際して尿中への漏出が増大するので糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症等の腎疾患で増大します。当社のレビス™ アルブミンELISAキットは血液・尿中アルブミンと疾患の関連性をはじめ、in vitroのアルブミン生合成実験系、培養系で作製された生理活性物質を精製した場合のウシ胎児血清 (FBS/FCS) の混入の検討 (ウシアルブミン)、NARでの肝細胞、肝組織移植後のアルブミン産生を指標とする成否の検討 (ラットアルブミン)、などに応用が可能です。

■ 特長

- 短時間で測定可能 (全反応時間は最長150分です)
- 少量検体で測定可能 (必要検体量は 5-100 μ Lです)
- 高い測定精度と優れた再現性 (同時再現性試験、日差再現性試験ともに平均CV値10%未満)
- 環境にやさしい防腐剤を使用 (アジ化ナトリウム不使用)
- 全ての試薬が溶液タイプで即座に使用可能 (測定検体を溶解・混合するだけで測定可能)

■ キット性能 * 正常検体の希釈目安はマウス・ラットの血清/血漿検体が10,000-50,000倍、尿検体が50-100倍程度です。ウシの血清/血漿検体については100万倍程度です。

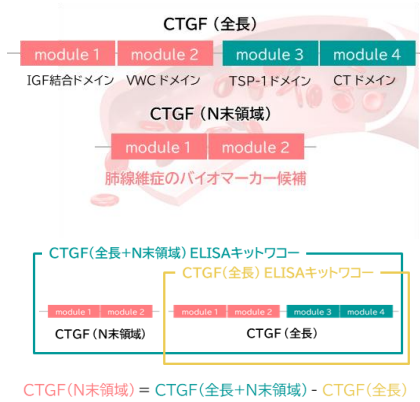
品名	レビス™ マウスアルブミン ELISAキット	レビス™ ラットアルブミン ELISAキット	レビス™ ウシアルブミン ELISAキット
コードNo.	291-92301	293-92501	295-92201
検量線範囲	50-1,000 ng/mL	50-1,000 ng/mL	0.78-50 ng/mL
測定対象検体	マウス 尿/血清*/血漿* (ヘパリン推奨)	ラット 尿/血清*/血漿* (ヘパリン推奨)	細胞培養液 / ウシ 血清*/血漿*
検体量*	5 μ L	5 μ L	100 μ L
測定時間	約2時間20分	約2時間20分	約2時間30分
検出法	発色系 (主波長: 450 nm/副波長: 620 nm)	発色系 (主波長: 450 nm/副波長: 620 nm)	発色系 (主波長: 450 nm/副波長: 620 nm)

コードNo.	品名	容量	希望納入価格 (円)	キャンペーン価格 (円)
291-92301	レビス™ マウスアルブミン ELISAキット	96回用	74,800	52,400
293-92501	レビス™ ラットアルブミン ELISAキット	96回用	74,800	59,800
295-92201	レビス™ ウシアルブミン ELISAキット	96回用	74,800	52,400

CTGF ELISAキット

結合組織成長因子（CTGF: Connective Tissue Growth Factor）は臍静脈や血管内皮細胞から産生される約38 kDaの分泌タンパク質です。細胞接着や軟骨細胞の増殖・分化などに関与することが知られている他、組織線維化の主要因子と考えられており、線維症のマーカー候補として報告されています。CTGFには全長CTGFの他に、N末領域（Module 1-2）のCTGFとC末領域（Module 3-4）のCTGFがあり、血中には主にCTGF（全長）とCTGF（N末領域）が存在します。

CTGF（N末領域）は特発性肺線維症（IPF; Idiopathic Pulmonary Fibrosis）のバイオマーカーとして期待されているものの、CTGF（全長）とCTGF（N末領域）が混在するなかで、N末領域のみを測定することは困難でした。当社ではCTGFの全長および全長+N末領域を測定するELISAキットをそれぞれ開発しました。2種類のELISAを組み合わせることで、IPFのバイオマーカーとして期待される血液中のN末領域CTGFを正確に測定することが可能です。



製品ラインアップ

品名	CTGF(全長) ELISAキットワコー	CTGF(全長+N末領域) ELISAキットワコー
コードNo.	290-84701	292-84901
測定対象	CTGF（全長）	CTGF（全長） およびCTGF（N末領域）
検量線範囲	7.81-500 pM	7.81-500 pM
測定対象検体	ヒト 血清/血漿（EDTA） ※ マウスの血清・血漿は測定不可	ヒト 血清/血漿（EDTA） ※ マウスの血清・血漿は測定不可
検体量	ヒト血清: 5 μL ヒト血漿（EDTA）: 10 μL	ヒト血清: 5 μL ヒト血漿（EDTA）: 10 μL
測定時間	約2時間50分	約2時間50分
検出法	発色系（主波長: 450 nm/副波長: 620 nm）	発色系（主波長: 450 nm/副波長: 620 nm）

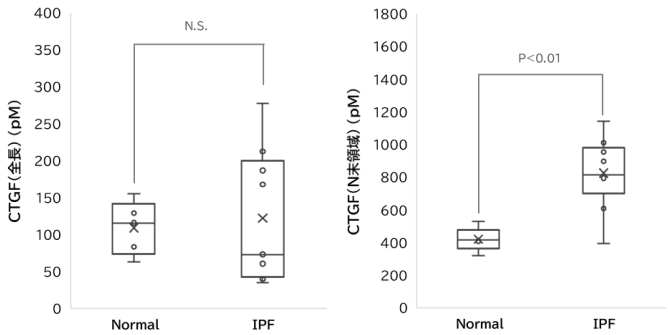
アプリケーションデータ

健康者およびIPF患者の血漿におけるN末領域CTGFの測定

健康者および特発性肺線維症（IPF）患者より採取した血漿（EDTA）から、CTGF(全長+N末領域) ELISAキットワコーとCTGF(全長) ELISAキットワコーを用いて、CTGF（全長）およびCTGF（N末領域）の量を求めた。

【結果】

CTGF（全長）は健康者とIPF患者の間で統計的に有意な差は見られなかった。一方、IPF患者の血漿中CTGF（N末領域）量は健康者よりも有意に高かった。



コードNo.	品名	容量	希望納入価格（円）	キャンペーン価格（円）
290-84701	CTGF(全長) ELISAキットワコー	96回用	108,000	75,600
292-84901	CTGF(全長+N末領域) ELISAキットワコー	96回用	108,000	75,600

- 本文に収載しております試薬は、試験・研究の目的にのみ使用されるもので、「医薬品」、「食品」、「生活用品」などとして使用できません。
- 希望納入価格には消費税等が含まれておりません。

富士フイルム 和光純薬株式会社

本社 〒540-8605 大阪市中央区道修町三丁目1番2号
東京本店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号

- 北海道営業所 ● 東北営業所 ● 筑波営業所 ● 横浜営業所
- 東海営業所 ● 中国営業所 ● 九州営業所

試薬URL : <https://labchem-wako.fujifilm.com>

■FUJIFILM Biosciences

2501 Pullman Street, Santa Ana, CA
92705, USA
support@fujifilm.com
fujifilm-biosciences.fujifilm.com

■FUJIFILM Wako Chemicals Europe GmbH

Fuggerstr 12, 41468 Neuss, Germany
labchem_waku@fujifilm.com
labchem-wako.fujifilm.com

■富士胶片和光(广州)贸易有限公司

广州市越秀区先烈中路69号东山广场30楼3002、3003、3011室
wkgz.info@fujifilm.com
labchem.fujifilm-wako.com.cn

■富士胶片和光(香港)有限公司

Units 9-12 and 15-18, Level 28, Tower 1, The Millennium,
98 How Ming Street, Kowloon, Hong Kong
wkhk.info@fujifilm.com
labchem.fujifilm-wako.com.cn